

地域資源を活かしたプロモーション事業

— 地域資源の価値を向上させるプロモーションの可能性について —

Promotion project used local resources

— potential of promoting value of local resources —

出島 正喜^{1,2}

¹南海電気鉄道株式会社 南海電鉄グループ 和歌山事務所

²2021年度・2022年度和歌山大学紀伊半島価値共創基幹 価値共創研究員

2018年から地域資源を活かしたプロモーション事業を企画・実施してきた。本稿では、その実績を整理し、地域資源の価値を向上させるプロモーション事業の可能性について考察する。

キーワード：地域資源、地域価値の向上

1. はじめに

筆者は、2021年7月～2023年3月までの間、南海電気鉄道株式会社に籍を置きながら、和歌山大学に価値共創研究員として、地域資源の価値を向上させるプロモーション事業を研究・実践してきた。南海電気鉄道株式会社は、沿線価値の向上を事業戦略の大きな柱の一つとしている。その中で筆者が所属する、南海電鉄グループ 和歌山事務所（以下「和歌山事務所」という）では、和歌山エリアの活性化を目的として、2018年度から地域資源を発掘し、「出かける価値」をプロモーションした事業を2022年度までに合計189回、ほぼ毎週1回のペースで開催してきた。この事業は和歌山事務所にとって収益事業ではない。参加者から基本的に、資料代・保険代等の実費分を参加費としていただく。それ以外の経費は和歌山事務所が負担している。また、価値共創研究員として大学の教員とのヒアリングや対話から企画・実践した事業や学生との共創により実践した事業も含まれる。

本稿では、本事業の実績をジャンル別に整理するとともに、地域資源の価値を向上するための課題やプロモーション方法の可能性について、実践・研究の両方の立場から考察を行うものである。

2. 開催実績のジャンル別整理及び地域資源の価値を向上させるプロモーションの可能性についての考察

2.1 「城郭・城跡」に関する事業実績

「城郭・城跡」に関する事業をテーマ別に訪問スポットを整理した実績を表1に示す。

表1 「城郭・城跡」に関する事業実績（筆者作成）

城郭・城跡	
テーマ	訪問スポット
和歌山城 天守閣再建60周年和歌山城で学ぶ城郭ゼミナール（2018年実施 全2回） 城下町の風景を訪ねて	市堀川 藩校学習館 寄合橋 昌平河岸 吹上御門 わかやま歴史館 鶴の溪 天守閣 追廻門 扇ノ芝 吉宗像 三年坂 岡口門 一の橋 京橋御門 駿河町 鷺ノ森
岸和田城跡を巡る	岸和田城跡
城郭ゼミナール 南大阪の移築現存「城郭」を巡る（2019年実施）	伝 太田城門（業医門形式）（大立寺「山門」） 土浦藩淡輪陣屋建物（深日御坊・金乗寺「庫裡」） 膳所城南総門「瀬田口門」（泉大津市松ノ浜） 伯太藩屋敷門（堺市小谷城郷土館「門長屋」） 狭山陣屋大手門（西本願寺堺別院「御成門」）
紀州徳川400年（2019年実施）	和歌山城（石垣と刻印） 第一回「御付家老の城 田辺・新宮」 田辺城（田辺市） 新宮城（新宮市） 第二回「紀州藩勢州領の鎮 松坂・田丸」 松坂城（三重県松坂市） 田丸城（三重県度会郡玉城町）
安宅城館巡り（2020年実施）	安宅本城跡 安宅大野城跡 長寿寺 八幡山城跡
太平記の名城「和佐山城」へ登る（2020年実施）	和佐山城跡
県指定史跡・畠山氏要の城鳥屋城に登る（2020年実施）	大野城跡（海南市） 麓から見学 広城跡（広川町・湯浅町） 麓から見学 鳥屋城跡（有田川町） 登城
南海沿線の城館跡を巡るVoi.1 加太線編（2020年実施）	平井城跡蓮乗寺 中野城跡 城ヶ峰城跡と沖野城跡
バス停沿いの「城郭跡」を巡る（2020年実施）	湊城跡とその周辺 伝・雑賀崎城跡（仮称）と雑賀崎台場跡 雑賀城跡と弥勒寺山城跡 太田城跡と水攻め堤防跡
バス停から行く城下町の風景を訪ねて～紀伊国名所図会～（2020年実施）	公園前バス停 大手門 一の橋 駿河町 西ノ店 鷺ノ森 本町五丁目 本町九丁目 県庁前バス停 追廻門付近 堂形の射場 蓮心寺 真砂浄水場 刺田比古神社 岡口門
戦国和歌山の群雄と城館巡り（2023年（2022年度）実施）	小松原館（土居） 亀山城跡 手取城跡 生蓮寺

2018年は和歌山城天守再建60周年に当たり、和歌山城や紀州藩に関連する城下町を訪ね、城郭の専門家による解説を聞くことで、和歌山城の魅力を再認識してもらおうと企画を開始した。また「戦国和歌山の群雄と城館巡り」(2022年度実施)等、広域エリアでの城郭企画を展開するに至った。特に山城は、雑木林に盛り上がった丘等を専門家の解説から読み解き、当時の状態を思い描きながら見学するところに醍醐味があるとの声が多く、参加者から評価の高かった事業である。

専門家による学術的観点からの解説が知的好奇心を誘い、プロモーション上有効である。物語、伝承、史実など地元住民が特に保存に奔走している物があり、それらを紹介することで、シビックプライドの醸成につなげることができないか、今後検討していきたい。

2.2 「神社・寺」に関する事業実績

「神社・寺」に関する事業をテーマ別に訪問スポットを整理した実績を表2に示す。

「四国八十八か所霊場めぐり」や「西国三十三所巡礼」などは全国的に有名であるが、和歌山市内にも霊場めぐりがある。それが2018年と2022年に実施した、「和歌山西国三十三カ所めぐり」である。霊場の寺には、紀州徳川家に関連のある寺が多く、和歌山城の周りを囲むように点在しているのが特徴である。

また、2019年に実施した「徳川家ゆかりの寺院建築を巡る」で訪れた、徳川治宝により再建された「十禅律院」(紀の川市粉河)の庫裏は、200年前の武家建築として圧巻であり、付属する枯山水庭園とともに、東京や大阪に存在していたなら、観光客がひっきりなしに訪れるであろう歴史資源である。このような埋もれた資源を掘り起こし、目を向けてもらおうと、「神社・寺」をジャンルとした企画を開始した。

これらの寺院は紀三井寺や東照宮とは違い日頃から多くの観光客を受け入れている寺院ではないため、法事や急な葬儀があり対応できないことが多い。しかし、こうした地元の檀家の日常や、昔からの地元の熱い信仰があって成り立っていることを知ることも魅力であり、また個人では訪れにくい所へ案内することも参加者にとって価値がある。

プロモーション事業を通じて発信することで、地域資源への理解を促すことができ、さらには地域資源の保存と活用との両立につながる可能性が高まっていくものと考えられる。

表2 「神社・寺」に関する事業実績 (筆者作成)

神社・寺						
テーマ	訪問スポット					
語り部と行く 和歌山西国 三十三カ所 めぐり (2018年実施)	高松寺	惠連寺	正壽院	慈光圓福院		
	万性寺	護念寺	龍源寺	海善寺		
	延命院	珊瑚寺	萬精院	安養寺		
	禅林寺	松生院	林泉寺	西岸寺		
	延壽院	惣光寺	補陀落山観音寺	吹上寺		
	大泉寺	大立寺	阿弥陀寺	光明院		
	無量光寺	常住院	浄福寺	鐘林院		
	窓誉寺	圓滿寺	不二山観音寺	圓藏院		
	三光寺	聖天宮法輪寺	高野寺	毘沙門寺		
	徳川家ゆかりの 寺院建築を巡る (2019年実施)	禅林寺 (徳川頼宣により創建)				
紀三井寺 ((御成御殿) 徳川家の御座所)						
長保寺 (徳川家の菩提寺)						
十禅律院 (徳川治宝により創建)						
徳川治宝により創建						
名草御殿 (根来寺)						
和泉西国三十三ヶ所 と客番詣り (2021年実施)	8観音院・9法華寺・7海岸寺・5放光寺・6来迎寺					
	33林昌寺・14往生院・28長慶寺・25孝恩寺					
	26水間寺・27吉祥園寺・3国分寺・4森光寺					
	16観音堂 慈眼院・12観音寺 中央寺・13龍雲寺					
	1施福寺・2佛並寺・32観音寺・30長楽寺					
	10長谷寺 南宗寺・11念佛寺・33極楽密寺					
	21松尾寺・22朝光寺・23久米田寺・24成願寺・29金熊寺					
	20観音寺・15成福寺・19長命寺・18圓福寺・17聖徳寺					
	バス停から行く! 和歌山西国 三十三ヶ所 観音霊場詣り (2022年実施)	1高松寺	2万松寺	4延命院	5禅林寺	3三光寺
		10惠連寺	11窓誉寺	7大泉寺	6延壽院	8無量光寺
13松生院		12珊瑚寺	15常住院	14大立寺	16惣光寺	
17法輪寺		18圓滿寺	19林泉寺	21萬精院	20龍源寺	
26高野寺		25観音寺	番外・浄福寺	22慈光圓福寺		
23観音寺		24阿弥陀寺	31光明院	30吹上寺	29安養寺	
28海善寺		番外・西岸寺	27正壽院	32鐘林院		
33圓藏院		番外・奥之院	毘沙門寺			

2.3 「歴史的建造物」に関する事業実績

「歴史的建造物」に関する事業をテーマ別に訪問スポットを整理した実績を表3に示す。

一見、普通に見える建物であるが、専門家の解説によって「地域に親しまれるもの」「時代の特色を現したもの」「再び作ることができないもの」等、建物の魅力や価値を知ってもらおうと「歴史的建造物」をジャンルとして企画した。

2019年「徳川家の移築建築物を巡る」で訪れた阿弥陀寺(和歌山市)の本堂は、細かな彫刻で飾られ、極彩色ですみずみまで彩られ圧巻である。1633(寛永10)年、紀州徳川家の初代藩主・頼宣が、兄である二代将軍・秀忠を弔うため、和歌山城下(現在の和歌山市吹上)に大智寺(だいちじ)を建立。明治維新の時、大智寺は廃寺になったが、境内にあった霊廟・台徳院(たまや)を阿弥陀寺本堂として移築した。400年の歴史があるだけでなく、当時の最高権力・徳川家が、家康とともに大御所と呼ばれた秀忠のため、建築技量の粋を集めた建築物といえる。

2020年「和歌山まちあるき〜バス停から小さな旅〜」

表3 「歴史的建造物」に関する事業実績（筆者作成）

歴史的建造物				
テーマ	訪問スポット	テーマ	訪問スポット	
紀州徳川家の移築 建築物を見る (2019年実施)	光恩寺庫裡（和歌山城「本丸御殿台所」）多門長屋（和歌山城「三の丸長屋」） 阿弥陀寺本堂（大智寺より移築の秀忠の霊屋）感應寺（湊御殿「書院御座の間」） 宗番寺山門（和歌山城「女中門」）養翠園（湊御殿「奥御殿」）	和歌山まちあるき ～バス停からの 小さな旅～ (2020年実施)	秋葉山バス停 五百羅漢寺・矢宮神社・軍用境界線・木下家・旧西幸番湯跡・円明寺・旧谷井家跡 水軒口バス停 糸川家住宅 打越延命夜泣地蔵 青石の洋館（山口家） 青石の蔵（下原家） 真光寺 光明寺 愛宕権現社 和歌浦口バス停 朝間家 梅本家 松木書店 多田家 真砂町バス停 滋野医院 御前家 加田家 岡口門 武家屋敷門長屋（長屋門）	
	和歌の浦 明光通りを 歩く（2019年実施）		梅本家 和田家 松木書店 多田家 旧岡崎邦輔別荘（純喫茶リエール） 旧石泉閣（わかうら食堂）	
紀ノ川筋の屋敷巡り (2019年実施)	旧中筋家住宅 増田家大庄屋敷 桃井家大庄屋敷 旧津田家住宅 奥家住宅	和歌山まちあるき ～バス停・ローカル線 からの小さな旅～ (2020年実施)	堀止バス停 三尾家 六三園 郭家 歩兵六一連隊跡 万性寺 伊太祁曽駅 伊太祁曽駅検車場 伊太祁曽神社 吉礼のまちなみ 都麻津姫神社	
徳川家の御殿を巡る (2019年 3回実施)	名草御殿（根来寺） 双青閣（海南市） 旧双青寮跡（和歌浦） 湊御殿（養翠園） 湊御殿（感應寺）		堀止バス停 島村家 木綿家 桐蔭高校（図書館・グラウンド観覧席） 無量光寺 岡崎前駅 岡崎御坊 常福寺 岡崎のまちなみ 西熊野神社	
南海本線駅舎の旅 (2019年実施)	淡輪駅 蛸地蔵駅 高師浜駅 諏訪ノ森駅 浜寺公園駅	和歌山まちあるき ～バス停・ローカル線 からの小さな旅～ (2021年実施)	車庫前バス停 高松寺 宇須井原神社 湯川製鉄所 龍山駅 龍山神社 彦五瀬命の御墓 静火神社 和田地区のまちなみ	
女神鎮まる 住吉 玉津島 二社をつなぐ南海本線 (2019年実施)	住吉大社（神楽殿・第一本宮（男神）・第四本宮（女神） 参拝 茅渟宮跡 『衣通姫』故地 玉津島神社		紀ノ川駅 総持寺 住吉神社 梶取のまちなみ 正光寺 八幡神社 豊田家住宅 北島渡し 福島九頭神社 小畑家住宅 松江駅 旧島橋架橋 旧島橋駅跡 住金専用線跡・待避所 松林寺跡碑 庚申社 正善寺 極楽寺 春日神社 寂光院 一字一石塔	
貝塚 ト半實上人が 作った寺内町と 歴史的建造物を巡る (2020年実施)	寺田家住宅 南川家住宅 名加家住宅 感田神社 願泉寺 並河家住宅 山田家住宅 利齋家住宅 岡本家住宅 宇野家住宅 尾飯家住宅 吉村家住宅 廣海家住宅	バス停から行く！ 熊野街道 和歌山むかしがたり (2022年実施)	身代わり地蔵 六地藏 旧長屋 三葛塩船出跡 装束松跡 鋸屋根の工場 煉瓦倉庫他 内原神社 若宮神社 紀三井寺界隈の町並み 紀三井寺三井水（清浄水・楊柳水・吉祥水） 他	
冬の高野山 歴史的建造物を巡る (2020年 2回実施)	金剛三昧院 高野山大学図書館 数珠屋四郎兵衛 壇上伽藍（不動堂・根本大塔・金堂・西塔）高野山霊宝館		和歌山市駅開業120 周年記念特別ツアー 和歌山 黎明期の近代 化遺産ウォーキン グツアー（2023年 （2022年度）実施）	旧和歌山紡績紀ノ川工場跡 宇治架道橋 宇治拱渠 宇治神社 紀ノ川橋梁 北島橋 河西橋 旧和歌山駅跡 市堀川橋梁 旧伝法橋伝法橋 伝法橋 寄合橋 和歌山建築士会館 旧中橋 中橋 京橋 住吉橋 堀詰橋 雑賀橋 本願寺麓ノ森別院
紀州街道を巡る ①～⑥ 2回 (2020年 2回実施)	①七道駅から大小路 鉄砲銀治射の場跡、清学院、榎並屋敷左衛門、芝辻理右衛門屋敷跡、山口家住宅他	和歌山のお茶室建築 を巡る(2022年実施)	有吉佐和子記念館 紀州藩 表千家屋敷跡 芦鶴庵・夜雨荘・岡陽軒（岡公園） 紅松庵（西の丸庭園）養翠亭（養翠園）	
	②御陵前から諏訪ノ森駅 南宗寺・片桐榎堂・石津太神社・太陽橋・北畠顯家戦死の地		和歌山の国宝建築物 を巡る(2022年実施)	善福院 本堂 長保寺 大門・多宝塔・本堂
	③羽衣駅から北助松駅 加羅橋跡・高石神社・大師堂・貝殻地藏・助松神社他		紀伊伊弉「聖武天皇が 憐れた和歌の浦」 (2022年実施)	真土山（飛び越え石） 宝来山神社 玉垣勾欄宮跡（車中） 紀伊国分寺跡 玉津島神社 糞供山 鹽釜神社 不老橋 万葉館 片男波（干潟）妹背山
	④北助松駅から泉大津駅 助松本陣・助松村境石造物群・ロシア兵墓地・大津神社・南浜寺・盾並橋他		全長上人の和歌浦物語 をめぐ～江戸時 代の観光案内～ (2022年度実施)	養珠寺（妙見堂） 芦辺屋跡 朝日屋跡 玉津島神社 奥の窟（塩釜神社） 御旅所跡（8の字公園） 天満宮 東照宮 弥勒寺山城跡 狛口石 亀遊岩 鶴立島（五百羅漢寺） 矢宮神社
	⑤春木駅から蛸地蔵駅 西福寺・礼拝塚古墳跡・徳本上人筆名号塔・旧和泉銀行・旧四十三銀行・他		紀州徳川家の双青寮 を訪ねて (2022年実施)	旧紀州徳川家別邸跡 双青閣 根来寺
	⑥蛸地蔵駅から貝塚駅 天性寺・テラ紡績・捕鳥部万の道標・尾飯家住宅・宇野家住宅・粉河街道分岐点道標他			和歌山のお茶室建築 を巡る(2022年実施)
紀州街道を巡る (熊野街道) 延期分 (2022年実施)	⑥ JR和泉砂川駅からJR新家駅 林昌寺・往生院・ふじ棚・真如寺・長慶寺・市場稲荷神社・信達宿本陣跡 海会寺跡・榎井古戦場跡・山田家住宅	和歌山の国宝建築物 を巡る(2022年実施)	善福院 本堂 長保寺 大門・多宝塔・本堂	
	⑤春木駅から蛸地蔵駅 西福寺・礼拝塚古墳跡・徳本上人筆名号塔・勤太夫橋（旧岸和田煉瓦レンガ塀） 旧和泉銀行・岸和田中央会館・旧四十三銀行・紀州街道町並み・岸和田城・三角屋根 五風荘		紀伊伊弉「聖武天皇が 憐れた和歌の浦」 (2022年実施)	真土山（飛び越え石） 宝来山神社 玉垣勾欄宮跡（車中） 紀伊国分寺跡 玉津島神社 糞供山 鹽釜神社 不老橋 万葉館 片男波（干潟）妹背山
	⑦蛸地蔵駅から貝塚駅 三の丸神社・天性寺・テラ紡績・捕鳥部万の道標・尾飯家住宅・宇野家住宅・ 岡本家住宅・利齋家住宅・願泉寺・感田神社・紀州街道町並みへ ・紀州・粉河街道分岐点道標		全長上人の和歌浦物語 をめぐ～江戸時 代の観光案内～ (2022年度実施)	養珠寺（妙見堂） 芦辺屋跡 朝日屋跡 玉津島神社 奥の窟（塩釜神社） 御旅所跡（8の字公園） 天満宮 東照宮 弥勒寺山城跡 狛口石 亀遊岩 鶴立島（五百羅漢寺） 矢宮神社
	紀州徳川家 庭園の 美と技を語る(2020年実施)		①和歌山城西之丸庭園 ②養翠園	南大阪の国宝建築物 を巡る (2022年度実施)
和歌山の庭園講座 美と技を語る (2021年実施)	根来寺名勝庭園他 粉河寺庭園と十禅律院 洗心庭 琴の浦湯山荘名勝庭園他 旧福島嘉六郎邸と玉津島神社・糞供山他	和大大モーターツアー 葛城修験 (2021年実施)	加太 深山砲台跡・阿字ヶ峰行者堂・春日神社 泉佐野市 犬鳴山七宝瀧寺 行者の滝・修験会館	
	友ヶ島ウォーク (2018・2019・ 2021・2022)		第3砲台 タカノス山展望台 旧海軍超音音跡 友ヶ島灯台	紀の川市 竜門橋（紀の川河川敷）・粉河街並み・粉河寺・産土神社・行者堂

の「水軒口バス停から「青石石工の街・打越を巡る」は、土塀や敷石でよく見る紀州青石（緑泥片岩）で作られた「青石の洋館」「青石の蔵」「青石の土塀」があり、他ではお目にかかれない景観である。青石の蔵を建てたのは大正・昭和初期に活躍した有名な石工で、近くの秋葉山や雑賀崎から青石を切り出していたという歴史がある。

このジャンルでは、とりわけ建築家の専門的な解説を取り入れて、知られていない「歴史的建造物」を発掘していくことに人気がある。普段見られない建物内部の見学ができることがポイントであるが、本事業が収益事業でないことで、所有者が趣旨に賛同いただきやすいため実現している。

建物の魅力にはその地域の歴史が必ずあり、建物だけではなく地域の歴史とセットとなったプロモーション、さらにいつからか風化してしまい跡形もなくなってしまう時代の経過の中で、残ってきた風景、残していく歴史そのものを解説者とともに考えるようなスタディツアーなども地域資源の価値を向上させるプロモーションのひとつとなると考える。

2.4 「自然・地形」に関する事業実績

「自然・地形」に関する事業をテーマ別に訪問スポットを整理した実績を表4に示す。

地形変動の歴史から構造に至るまでを専門家の解説によって2019年に「熊野カルデラの謎」「中央構造線活断層帯と地形の観察」を実施した。

表4 「自然・地形」に関する事業実績（筆者作成）

自然・地形	
テーマ	訪問スポット
熊野カルデラの謎 (2019年 2回実施)	黒島・夫婦波（紀伊半島隆起の中心と海が交わる部分）
	潮岬燈台（枕状溶岩と岩脈の貫入）
	橋杭岩（火成岩岩脈）
	古座の一枚岩（古座川弧状岩脈）
	川湯温泉（弧状岩脈と温泉の湧出）
	白見の滝（柱状節理と九里峡、熊野川地形）
	那智の滝（火成岩帯と熊野層群との境界）
ゴトビキ岩（柱状節理の火成岩）	
中央構造線活断層帯 と地形の観察 (2019年実施)	紀ノ川南岸の龍門山山腹地形の見学（粉河ふるさとセンター）
	断層変位地形・河川の屈曲・断層池（緑花センター）
	根来断層変位地形・河川の屈曲・低断層崖（根来寺大門付近）
	低断層崖（園部公園周辺）

熊野カルデラは1500年前の噴火活動による痕跡がある古座の一枚岩（古座川弧状岩脈）、コトビキ岩（柱状節理の火成岩）等、中央構造線断層帯に見る断層変異地形、河川の屈曲、低断層崖等（和歌山県植物公園緑化センター付近・根来寺南大門付近・園部公園付近）

現地で、直接専門家に経緯や自然の織りなすメカニズム（地震等）について解説を受け、自然の雄大さを感じてもらおうと専門的な切り口から「自然・地形」ジャンルに目を向けた。

普段、何気なく通り過ぎていた場所であっても、景勝地の自然や地形についての成り立ちを知ることで見方が変わり、ときには防災への関心を持つことにつながり災害に対する不安を取り除くための活動のきっかけとなることも期待できる。

このため、今後の可能性として、自治体との連携した防災に関連した地域資源を発掘し観光防災ツアー等の提供をすることにより地域資源の新たなプロモーションの可能性が生じると考える。

2.5 「和歌山出身人物・和歌山の歴史」に関する事業実績

「和歌山出身人物・和歌山の歴史」に関する事業をテーマ別に訪問スポットを整理した実績を表5に示す。

偉人の生誕日や没日、歴史的事象が起こった日、周年日等を基準に企画し、あまり知られていないエピソードを交えながら専門家の解説により人物像や暮らしに近づける内容で実施した。

まず、陸奥宗光は誕生175周年に併せて2019年に、南方熊楠は没後80周年に併せて2021年に実施、李梅溪没後340年に併せて2022年に実施した。また、山田猪三郎は国産飛行船、山田1号飛行船で自由飛行に成功した日から110年に併せて2020年に実施した。有吉佐和子は小説をなぞらえてゆかりの地を巡るイベントを実施し、松下幸之助は大阪へ丁稚奉公に旅立った11月23日に併せて毎年実施している。

人物に関して功績は勿論、身近に感じられるエピソード、人柄が伺えるストーリーを資源と捉えている。そのため、今後も専門家と連携して魅力ある様々なストーリーの発掘とともに、一方では、専門家がなかなか語りすることができない歴史上のエピソードを住民目線で語りすることができるガイドの育成等が地域資源の価値向上につながるポイントと考える。

2.6 「伝統・名産」に関する事業実績

「伝統・名産」に関する事業をテーマ別に体験内容を整理した実績を表6に示す。

和歌山の伝統技術・伝統文化・名産を知ってもらおうと企画した。

「和歌祭」は400年の歴史を誇る。2022年に創始400年を迎えるにあたり2020年からキーノ和歌山2階テラスにおいて定期的に公演を行い参加者にPRを行った。

表5 「和歌山出身人物・和歌山歴史」に関するイベント実績（筆者作成）

和歌山出身人物・和歌山歴史	
テーマ	訪問スポット
松下幸之助の原点を訪ねて (2018・2019・2022年実施)	幸之助生誕地・墓所 総本家駿河屋・本社工場 和歌山大学松下会館 雄小学校跡(世界一統) 和歌山市駅 北島橋 紀ノ川駅 本町1丁目界隈 わかやま歴史館 紅松庵 南汀丁界隈
有吉佐和子「華岡青洲の妻」「紀ノ川」の 舞台を訪ねて(2019年実施)	慈尊院 春林軒 旧名手宿本陣
松下幸之助と高野山 (2019年実施)	別格本山 西禅院(宿泊部屋・重森三鈴庭園) 総本山金剛峯寺(茶室「真松庵」) パナソニック墓所(中の橋)
南方熊楠2つの出発点を巡る (2019年実施)	南方熊楠胸像(生誕地) 寄合橋 雄小学校跡(世界一統) 鳥山啓寓居跡 円珠院(愛宕山、秋葉山) あしべ屋跡 和歌山市立博物館
陸奥宗光とゆかりのある幕末維新期の和歌山を巡る (2019年実施)	郭家住宅 生誕地の碑 和歌山県立図書館 わかやま歴史館 砂の丸 追廻門 ケッペン寓居跡碑 和歌山県立博物館 岡公園(陸奥宗光像)
大畑才蔵の小田井灌漑用水を巡る(2019年実施)	橋本市郷土資料館 大畑才蔵誕生地学文路の碑 小田頭首工 JR高野口駅舎 中谷川水門 小庭谷川戸井 龍之戸井 粉河寺大畑才蔵翁顕功碑 木積川戸井
鉄道三大請負業者 ~西本組~ (2020年実施)	西本用助の碑(五百羅漢寺) 朝間邸 寄合橋 南方酒造(世界一統) 旧西本組ビル
産業をリードした“和紡”和歌山紡績(2020年実施)	伝法橋南詰(和歌山紡績本社跡) 旧和歌山紡績紀ノ川工場跡 宇治架道橋 宇治拱渠 宇治神社 紀ノ川橋梁
一和歌山大学生作成企画— 飛行船のパイオニア・山田猪三郎と和歌の浦 (2020年実施)	山田猪三郎顕彰碑(高津子山) 山田猪三VD(ホテル萬波会議室)
一和歌山大学生作成企画— 紀州の名水家・井沢弥惣兵衛の足跡を巡る (2020年実施)	井沢弥惣兵衛生家跡 野上八幡宮(井沢弥惣兵衛寄進「手取水」・寄進帳) 亀池(井沢弥惣兵衛がわずか3ヶ月で完成させた溜池)
一和歌山大学生作成企画— 和歌山が誇る「知の巨人」 南方熊楠の暮らしをたどろう (2021年実施)	誕生の地 雄小学校跡 通っていた寺子屋跡 孫文が泊まった富士屋旅館跡 兄が勤めていた四十三銀行跡 和歌山新聞新報社跡 恩師 鳥山啓の宿舍跡 和歌山城東堀埋立反対運動の場所 和歌山歴史館 和漢三才図会を借りた岩井屋津村多賀三郎家 大学予備門の同級生 蘭田宗恵宅 和歌山県立博物館 鬮鶏神社 多屋孫書店 今福湯跡・喜多幅武三郎家 辻の餅 玉置メガネ NTT西日本田辺別館 池田写真館 南方熊楠顕彰館 田辺城水門跡 高山寺 南方熊楠記念館
「助左衛門四代記(有吉佐和子)」の舞台を訪ねて (2022年実施)	木本小学校 高橋克己生家跡地 垣内隆様宅 木本八幡宮 有吉佐和子記念館
紀州の師「李真栄」「李梅溪」親子と 「父母状」を巡る(2022年実施)	和歌山市立博物館 海善寺 李梅溪居住地跡(梅溪井戸) 駿河屋善右衛門
一和歌山大学生作成企画— 世のため 人のため 地域のためにつくした 医聖華岡青洲(2022年実施)	道の駅 青洲の里 春林軒 華岡家墓地 垣内池 垣内池 資料室 旧名手宿本陣

歴史的伝統文化の継承は、演舞者や祭りを支える後継者不足が問題となっている現実を認識してもらうことも目的として企画した。

表6 「伝統・名産」に関するイベント実績（筆者作成）

伝統・名産	
テーマ	体験や見学
紀州の和菓子文化 まるごと堪能 (2018・2019・2020)	橘本神社参拝 (海南市) 駿河屋小倉工場見学 駿河屋駿河町本店 (和菓子作り体験)
平和酒造×南海電鉄 コラボ企画	平和酒造株式会社 (海南市) 山田錦田植え体験 (2018) 山田錦稲刈り体験 (2019)
串柿の里 四郷散策と観音山 フルーツガーデンみかん狩り (2018・2019・2020・2021・2022)	観音山フルーツガーデン (紀の川市) みかん狩り 四郷・串柿の里 (かつらぎ町) 平地区の串柿散策 串柿づくり見学
伝統野菜で金山寺味噌づくり 教室 (2019・2020・2021・2022)	湯浅醤油 丸新本家 湯浅本店 (湯浅町) 蔵見学 湯浅ナス・醤油の歴史 金山寺味噌作り体験
和歌山生まれの まりひめいちご狩りと 梅林散策	農園紀の国 (御坊市名田町) まりひめいちご狩り (2019・2020・2023) ぶらむ工房・南部梅林 (みなべ町) 梅干し工場見学、梅林散策 (2020) 紀州石神田辺梅林 (田辺市上芳養) 梅林散策 (2023)
キーノ和歌山 組み木人形展	キーノ和歌山 3F 和歌祭 組み木人形 (2019・2022) 徳川斉順の参勤交代大名行列 組み木人形 (2022)
紀州徳川家 戦国江戸の時代絵巻 和歌祭定期公演 (2020・2021・2022)	キーノ和歌山 2Fテラス (見学) 摺鉦・太鼓 御船歌 餅つき踊り 雑賀踊り 棒振り 舞姫 (演舞) 薙刀振 獅子舞 童子 面被 腰元 連尺
和歌山の「技」体験イベント (2023年 (2022年度))	株式会社ダイユーケミカル (海南市岡田) 布張り成型体験 弁当箱・トレイ・コースター 高田耕造商店 (海南市棕木) 棕欄 (シュロ) でミニほうきをつくり体験 作業場見学

名産を伝える企画として、2018-2019年に「平和酒造」(海南市)と連携し、酒米の田植えと稲刈りの体験を企画。2019-2022年には「湯浅醤油 丸新本家」(湯浅町)と連携し、伝統野菜である「湯浅ナス」を使った「金山寺みそづくり教室」の体験を企画した。

2019・2020・2023年には「農園紀の国」(御坊市)と連携し、和歌山生まれの「まりひめいちご狩り」の体験を企画し、2020年は、南部梅林とぶらむ工房の見学を、2023年は紀州石上田辺梅林といちご狩りと併せた体験を企画した。2018-2022年には、かつらぎ町四郷地区の串柿郷をガイドの案内で、柿の皮むき体験と、干し柿が傾斜一面に広がるその時期ならではの景観の

体験と、「観音山フルーツガーデン」(紀の川市)で、美味しいみかんの見分け方を教えてもらったり、名物の「フルーツパフェ」を堪能してもらう体験を併せた企画を実施した。

技術を伝える企画として、2023年に全国でも県内の数社しか持たない「布張り形成」の技術を「株式会社ダイユーケミカル」(海南市)と連携して、自分のオリジナルの弁当箱・トレイを作る体験を企画。また、日本で唯一、棕欄山の手入れから棕欄の採取・製造・販売まで行っている、「高田耕造商店」(海南市)と連携した「ミニほうきづくり」の体験を企画した。

上述のような体験を通じて得られる和歌山の「魅力」や「技」は重要な地域資源である。その地域資源を魅力的な「和歌山ブランド」として認知してもらうことが今後の課題である。既に見学や体験を実施している各企業と繋がりながら、新たな体験メニューの開発、さらには「和歌山ブランド」を形成する企業へのオープンファクトリーの働きかけなどを行うことで地域が一体となった地域資源のプロモーションが可能となると考える。

3. 和歌山大学との共創を通じて

2018年度から始めた当該事業の中には、和歌山大学の教員に専門性や独自の視点での解説の観点から計34回にわたって解説を依頼してきた。また、価値共創研究員として派遣期間中に、大学教員等からの対話等で実践してきたものも計7回になる。

また、筆者が勤務する和歌山事務所は、2020年から和歌山大学とインターンシップ制度を結び、2022年度まで約4名の学生がイベントを企画した。特に、「和歌山大学生企画」として2021年に実施した「和歌山が誇る「知の巨人」南方熊楠の暮らしをたどろう」では、幼少時代から青年期の暮らしと和歌山市内をテーマに、住んでいたと言われる場所や、田辺定住から晩年の田辺での通っていた銭湯跡、本屋等暮らしを伺わせる場所を巡るといふ2本立てであった。2022年に実施した「世のため 人のため 地域のためにつくした 医聖華岡青洲」は、全身麻酔の発明だけでなく、地域に溜池を作り農業用水として地元民に尽力した有吉佐和子の小説「華岡青洲の妻」では知りえない「地域のために」の部分にこだわった企画となった。

学生は、時代に応じた視点で魅力を発信できることに加えて子どもでも大人でも話し掛けやすい最高のハブであり、学生の思いや感性、アクションを取り入れることで、地域資源の価値がさらに向上すると感じた。

4. With / After コロナ禍における 事業の実施を通じて

2020年に新型コロナウイルス感染症が拡大し、外出制限、緊急事態宣言などによる地域における交流の機会や地域への来訪者数は激減した。

コロナ禍においても、本事業はWith/After コロナを見据え、政府・自治体のマニュアルを遵守した運営に努めた。和歌山大学と和歌山事務所では、この取り組みを仮に「マイクロツアー」と名付けた。

マイクロツアーは、①和歌山在住者限定、②少数人数、③午前のみ、午後のみとした短時間開催、④昼食はなし又は各自でとる。(弁当持参他)、⑤検温、⑥手指消毒、⑦マスクの着用等、感染対策を講じるというものである。近場でのマイクロツアーの実践は、テレワークや外出制限で低下した体力にも無理なくマッチし、With/After コロナにおける地域活性化モデルとして成立するものと考えた。

和歌山事務所は、和歌山エリアの活性化を目的に和歌山県出身の偉人の生誕日・没日や歴史的事象が起こった日、周年日、春夏秋冬、年中行事など、1年52週全てで何かを発掘し、意味のある日・時をタイミング良くとらえて事業を実施してきた。これを52週マーケティングといい、毎週何かがある状況を2018年から作ってきた。2018年からの5年の中で、コロナウイルス感染症による外出抑制の中でも参加者からは「家を出るきっかけになった」という声を多くいただいた。これは、まさに本事業は、交流の場・Well-beingの場としての価値があり、コミュニケーションツールの役割を担っているという発見があった。

5. 地域資源を活かしたプロモーション事業の 今後の可能性と今後の課題

地域資源の価値向上のためのプロモーションの方法の可能性のポイントを整理したものを表7に示す。

表7 地域資源を活かしたプロモーション事業の可能性ポイント (筆者作成)

ジャンル	地域資源を活かしたプロモーション事業の可能性のポイント
① 城郭・城跡	物語や伝承、史実などの紹介
② 神社・寺	地元の檀家の日常や歴史の伝達
③ 歴史的建造物	普段見られない建物内部の見学・建物と地域をセットとした発信
④ 地形・自然	防災意識の醸成と繋げる観光防災ツアーなど
⑤ 人物や歴史	「身近に感じられるエピソードで人柄が伺えるストーリー」・そのストーリーを語るガイドの育成
⑥ 伝統・名産	魅力的な「和歌山ブランド」として認知度向上
⑦ 大学との共創	学生の思いや感性、アクションを取り入れる
⑧ 交流の場 Well-beingの場	コミュニケーションツールの役目

今後、地域資源の価値向上の可能性を広めていくためには、上記のポイントを深掘した企画に取り組むこと。新たな地域資源を発掘し、その魅力を上記のポイントによりプロモーション化していくこと、事業がもたらす経済効果について数値化し、貢献度を図ることなどで各ポイントの深掘をさらに進めて行くことなどが必要と考える。

6. おわりに

新型コロナウイルス感染症の流行が終息していくにつれて、遠出する人が増えてくる事は明確である。しかし、地域資源は、例えば、何気なく通り過ぎていた建物やお寺に、知りえなかった歴史や出来事に気づかせてくれる小さな発見や懐かしさがある。

今後も、新たな地域資源を発掘し、和歌山エリア価値の向上に向けて、地域の方々や起業・自治体・大学等と連携しながら邁進していきたい。